

第5回 持続的発展に向けた空港業務のあり方検討会 ヒアリング資料



新潟航空サービス株式会社
2023年4月11日

目次

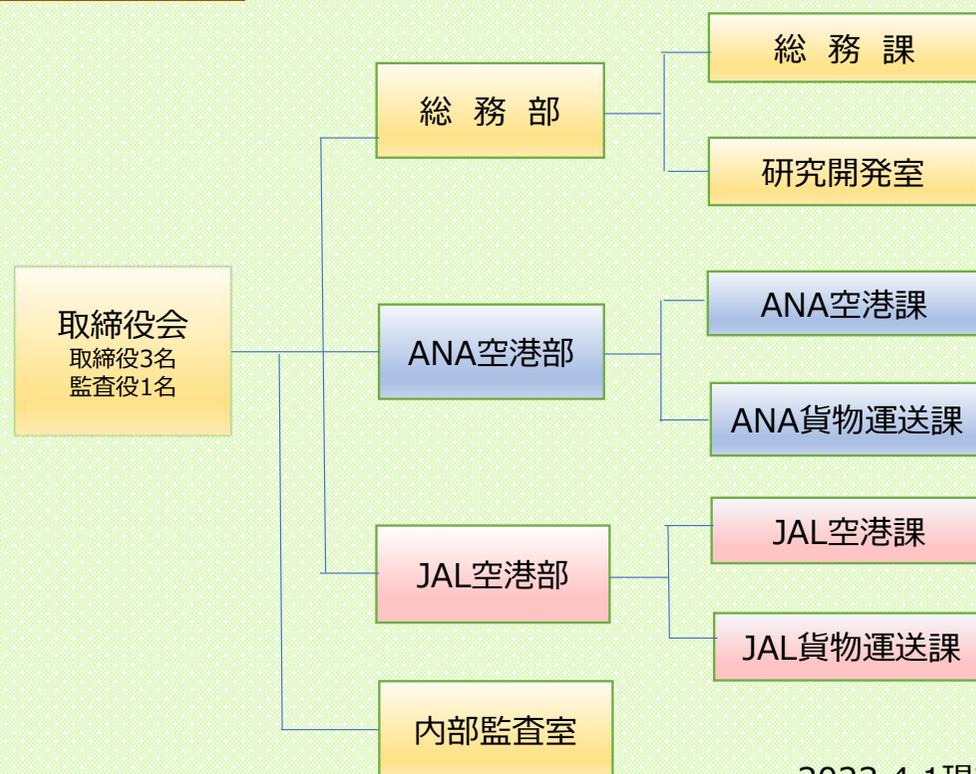
1. 会社概要（概要・組織図）
2. 会社基本情報
（①年齢別構成比②業務内容③採用情報④キャリアパス）
3. 外国航空便受入体制
4. コロナ禍における取組みと今後について

1. 会社概要

概要

本社所在地	新潟市中央区万代1丁目6番1号
空港部門	新潟市東区松浜町3710番地
発足年月日	平成16年4月1日
資本金等	資本金 50,000千円
資本出資割合	新潟交通株式会社 100%
従業員数	100名（令和5年4月3日現在）
決算期	3月
営業種目	航空運送代理事業及び付帯関連事業

組織図

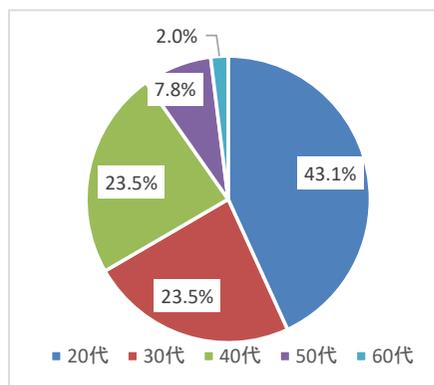


2-①年 年齢別構成比

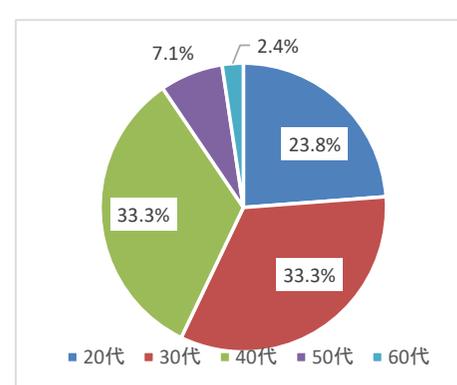
(2022.10月現在)

	人数	男女比	平均年齢	平均勤続年数
男性	45	48.4%	40.2歳	14.5年
女性	48	51.6%	33.8歳	9.0年
合計	93	100.0%	36.9歳	11.7年

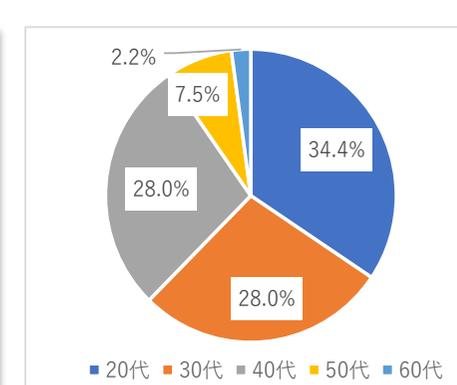
旅 客



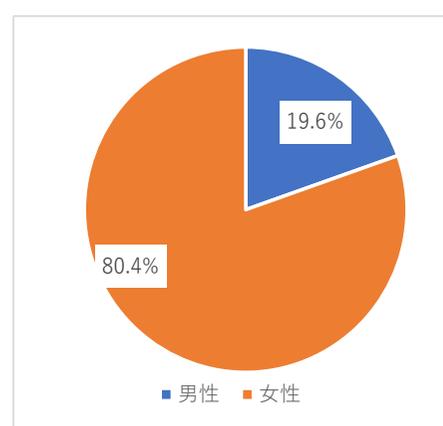
貨物運送



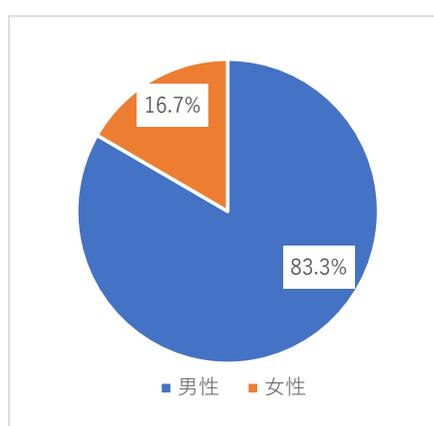
G H 計



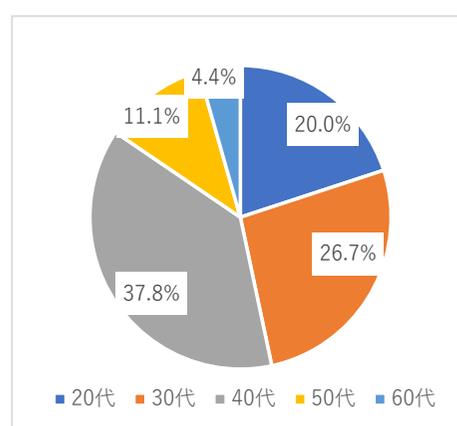
旅 客(男女比)



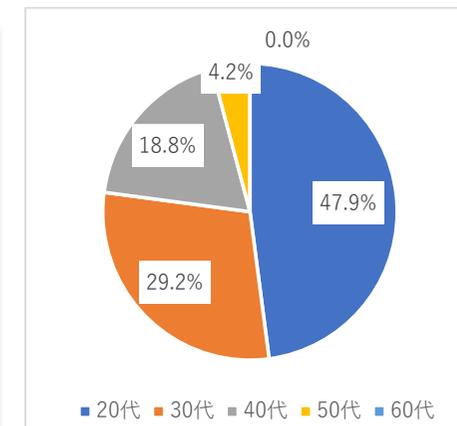
貨物運送(男女比)



男 性



女 性



2-②業務内容

旅客サービス・運航支援



- ①カウンター
 - ・チェックイン
 - ・手荷物預かり
- ②航空保安
 - ・手荷物検査場案内・誘導
- ③ゲート業務
 - ・出発ゲート対応
- ④デスク(営業管理)
 - ・情報コントロール
- ⑤手荷物サービス
 - ・手荷物引き渡し
 - ・破損等のクレーム対応
- ⑥その他旅客業務
 - ・お手伝いを必要とするお客様の支援
- ⑦運航支援(ステーション)
 - ・飛行監視
 - ・スポットコントロール

ランプハンドリング



- ①搭載
 - ・貨物や手荷物の搭降載
- ②誘導
 - ・マーシャリング
 - ・プッシュバック
 - ・トーイング
- ③機体
 - ・整備作業補助
 - ・防除雪氷等
- ④清掃
 - ・機内清掃
- ⑤貨物
 - ・手荷物引き渡し
 - ・破損等のクレーム対応
- ⑥運航支援(ステーション)
 - ・受付
 - ・貨物の受領・引き渡し

2-③採用情報

採用情報(空港GH)

【部門別情報】	JAL部門	ANA部門
月間所定労働時間(平均)	166時間	166時間
勤務形態	変形労働時間制(5勤2休)	変形労働時間制(4勤2休)
年間休日	105日	115日
有給休暇	10~20日	10~20日
採用	新卒・既卒採用あり(HP/ハローワーク/求人情報サイト掲載)	
採用時期	通年採用(随時)	
各種制度	経験者優遇制度・資格取得費用立替制度あり	
採用プロセス	履歴書提出、書類選考後筆記・クレペリン検査・面接	
主な採用先	高校・専門学校・短期大学・大学	

2-④ キャリアパス

昇格 イメージ

1年目
スタッフ

3年目
サブチーフ

5年目
チーフ

7年目
リーダー

10年目
管理職

旅客 部門



新入社員教育
国際線IQ講習
国内・国際線チェックイン業務
国内・国際線到着業務
国内・国際線ゲート業務
国内予約。発券業務
国際線アパレル業務
国内線ゲート業務

国際線予約・運賃・発券業務

各種インストラクター資格取得

国内線カウンター責任者
受託便カウンター業務
国際線コントロール業務

国内線デスク(責任者業務)

チーム統括
トラブル・イレギュラー対応

係統括/人材育成
業務改善、品質・生産性向上

貨物運送 部門



新入社員教育
国内線搭降載
GSE運転操作
PBB着脱
フォークリフト講習
インターフォン業務
国際線搭降載
マーシャリング

大型自動車第一種免許取得
高所作業車講習

けん引免許取得
プッシュバック・トーイング
航空機整備士の支援・補助業務
航空貨物業務全般(受託・引渡)
防除雪氷スプレーヤー
運送系/整備系インストラクター
ロードマスター業務

チーム統括
トラブル・イレギュラー対応

係統括/人材育成
業務改善、品質・生産性向上

1年目

3年目

5年目

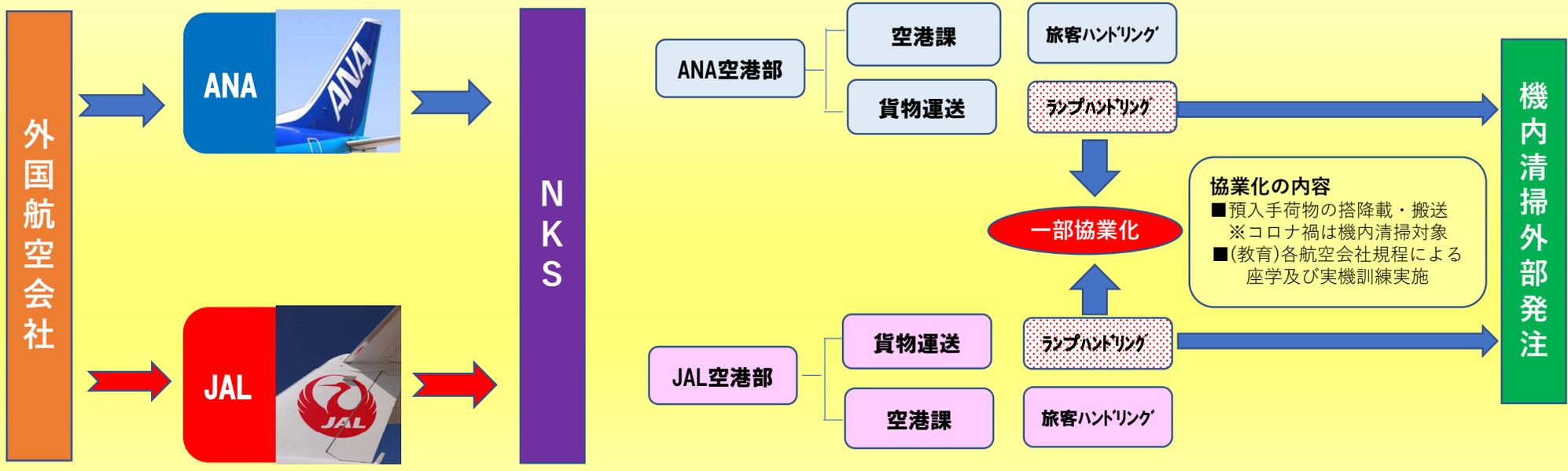
7年目

10年目

15年目

20年目

3. 外国航空便受入体制



4. コロナ禍における取組みと今後について

コロナ禍の取組み

雇用維持

- ①在籍型出向の実施
- ②営業部門を親会社へ事業移管
- ③雇用調整助成金活用
- ④新潟県・市ワクチン接種会場運営受託
 - 2021年7～11月、2022年2～3月

離職防止

- ①育休復職後の時短勤務期間を延長（約3か年）
- ②一時金の支給継続、2022年度期末手当支給
- ③労働環境改善：女性(貨物運送課)休憩室設置

その他

- ①コロナ禍期間における採用抑制
- ②業務効率化による経費抑制
 - 協業化による機内清掃費(外注)削減

今後の課題

人材の確保

- ①コロナ禍にて毀損した航空業界イメージ・認知度回復(継続)
 - 行政・業界・航空各社とタイアップしたイベントへの対応
 - 専門学校への講師派遣を通じた空港業務のPR・認知度向上
- ②労働条件の改善
 - 賃金のベースアップ
- ③採用活動強化策
 - HP全面リニューアル予定
 - 求人情報サイトへの掲載(継続)
 - 経験者優遇(リターン)制度活用(2022実績 旅客2名)
 - 空港周辺地域への新聞折込チラシ
 - バスセンター内サインージ広告掲出
 - 航空会社求人サイトとのリンク
 - 通年採用制度構築(教育体制/スケジュールを再構築)
- ④労働環境改善
 - 先輩社員・管理職によるフォローアップ強化
- ⑤他空港からの応援受入



(新聞折込チラシ)

人材育成、スキルアップ、効率化

- ①キャリアパス見直し
 - 現況に見合った業務体制構築のための教育スケジュールを設定
- ②外航受入要員養成、スキルアップ
 - 各航空会社毎に異なるシステム・規程等の習熟
 - 就航先毎に異なる渡航書類の把握
 - 管理者養成教育(資格取得)
- ③業務協業化追加検討
 - 逆流防止の監視等